

# 子供の未来 サクラが見守る

## 神戸キワニスクラブが寄贈

今月6日に神戸市兵庫区に移転した児童相談所「神戸市こども家庭センター」で13日、サクラの植樹式が開かれた。社会奉仕団体「神戸キワニスクラブ」が同センターの移転を記念し、ソメイヨシノを寄贈した。

同クラブは昭和45年に設立され、本の寄贈や絵本の読み聞かせなど子供の支援活動に取り組んでいる。平成29年にも市内の特別支援学校2校の校舎新築を記念してサクラを贈っており、今回が3回目の寄贈となる。植樹式には同クラブの会員など計15人が参加。同センターの榎原伴子所長らが高さ約3メートルのソメイヨシノをセンターの入り口近くに植えた。榎原所長は「サクラの成長とともに、子供たちやその家族が将来に歩んでいけるように支援に力を入れていきたい」と謝辞を述べた。

同クラブの中後和子会長は「寄贈したサクラが子供たちを見守る存在になればうれしい。この施設で子供たちが健やかに過ごせるように願っている」と話していた。



サクラを植え込みに植樹する神戸市こども家庭センターの榎原伴子所長（手前）と神戸キワニスクラブの中後和子会長（神戸市兵庫区）